

タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ウリヤ・バト・シェバ]</p> 章:節 聖句 [検索対象総数 : 16 / 聖句等の総数 33250 (ウリヤ)8個 (バト・シェバ)11個]
K サムエル記下	11:3 ダビデは人をやって女のことを尋ねさせた。それはエリアムの娘バト・シェバで、ヘト人ウリヤの妻だということであった。
K サムエル記下	11:26 ウリヤの妻は夫ウリヤが死んだと聞くと、夫のために嘆いた。
K サムエル記下	12:10 それゆえ、剣はとこしえにあなたの家から去らないであろう。あなたがわたしを侮り、ヘト人ウリヤの妻を奪って自分の妻としたからだ。』
K サムエル記下	12:15 ナタンは自分の家に帰って行った。主はウリヤの妻が産んだダビデの子を打たれ、その子は弱っていった。
K サムエル記下	12:24 ダビデは妻バト・シェバを慰め、彼女のところに行って床を共にした。バト・シェバは男の子を産み、ダビデはその子をソロモンと名付けた。主はその子を愛され、
K 列王記上	1:11 ナタンはソロモンの母バト・シェバに言った。「お聞きになってはいませんか。我らの主君、ダビデの知らないうちに、ハギトの子アドニヤが王となったということ。
K 列王記上	1:15 バト・シェバが王をその部屋に訪ねると、非常に年老いた王は、シュネム生まれのアビシャグの世話を受けていた。
K 列王記上	1:16 バト・シェバは王の前にひざまずいて礼をした。王が「どうしたのか」と尋ねたので、
K 列王記上	1:28 ダビデ王は答えて、「バト・シェバをここに呼びなさい」と命じた。彼女が進み出て、王の前に立つと、
K 列王記上	1:31 バト・シェバは顔を地に伏せ、王に礼をして、「わが主君、ダビデ王、あなたの命がとこしえに永らえますように」と言った。
K 列王記上	2:13 ハギトの子アドニヤはソロモンの母バト・シェバのもとに行った。彼女が、「穏やかな事のために来たのですか」と尋ねると、彼は、「穏やかな事のためです」と答えた。
K 列王記上	2:18 バト・シェバは、「いいでしょう。あなたのために王に話します」と答えた。
K 列王記上	15:5 ダビデが主の目にかなう正しいことを行い、ヘト人ウリヤの一件のほかは、生涯を通じて主のお命じになったすべてのことに背くことがなかったからである。
K 歴代誌上	11:41 ヘト人ウリヤ。アフライの子ザバド、
K 詩編	51:2 ダビデがバト・シェバと通じたので預言者ナタンがダビデのもとに来たとき。】
S マタイによる福音書	1:6 エッサイはダビデ王をもうけた。ダビデはウリヤの妻によってソロモンをもうけ、